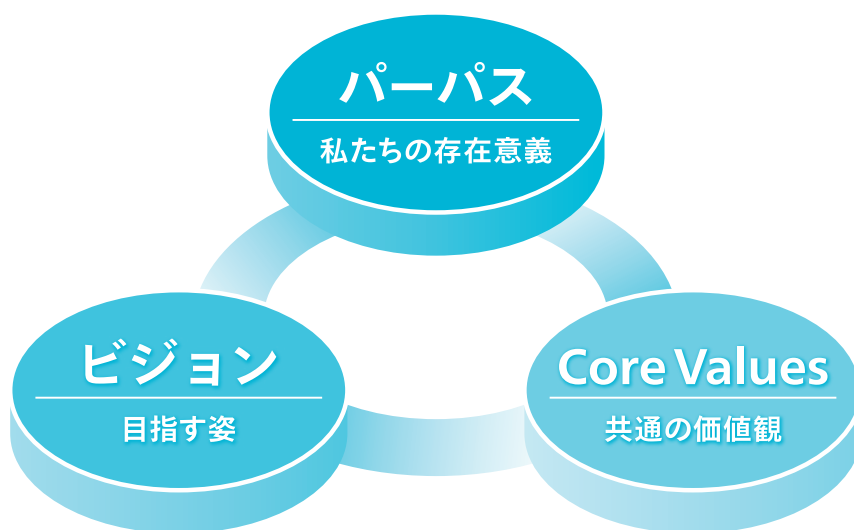


All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

古河電工グループ 会社案内



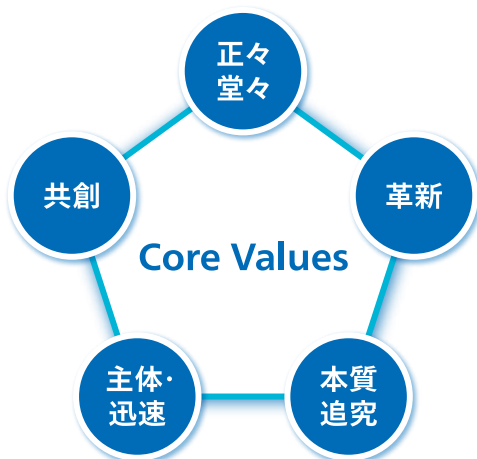


私たちの存在意義
古河電工グループ パーパス
「つづく」をつくり、世界を明るくする。

いつまでに、どこを目指すのか？ 目指す姿
古河電工グループ ビジョン2030
「地球環境を守り」「安全・安心・快適な生活を実現する」ため、
情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創る。

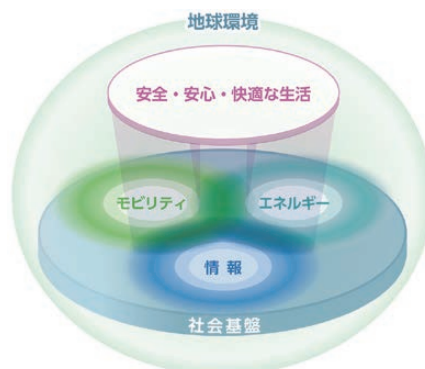
どのように行動するのか？ 共通の価値観
Core Values
正々堂々 革新 本質追究 主体・迅速 共創

Core Values (コア・バリュー)



古河電工グループ ビジョン2030

古河電工グループは「地球環境を守り」
「安全・安心・快適な生活を実現する」ため、
情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創る。



古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、 世界を明るくする。

日々の当たり前の暮らしが、安心・快適につづくこと。
今日よりも豊かな明日へ、社会の進歩・発展がつづくこと。
人と地球の共生が、いつまでも幸せにつづくこと。

よりよい未来へとつながる、そんな「つづく」を、
絶え間ないイノベーションで、つくり、支える。
それが、私たちの存在意義。

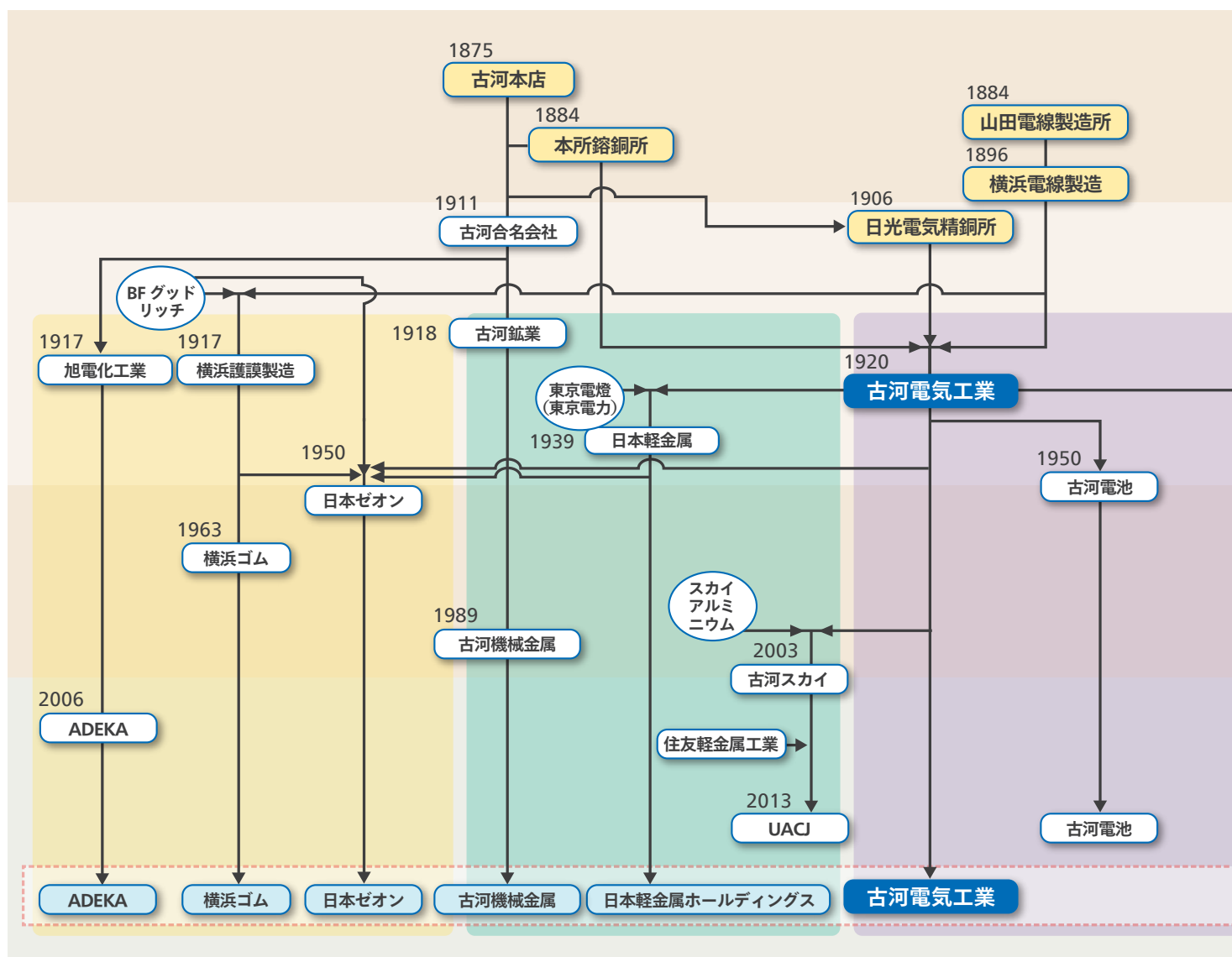
さまざまな社会課題に向き合い、
インフラをはじめ、あらゆる領域を超えて挑戦する。
1884年の創業以来、誠実に磨きつづけてきた、
技術力と提案力を強みに。

私たちは今日もつくりだす、未来への「つづく」を。
世界を明るくするために。

古河グループ主要企業沿革

古河グループ

古河グループは、任意団体の古河三水会を構成し、10社の理事会社および会員会社をもってグループ各社相互間の



古河三水会 理事会社 10 社

古河電工の歩み



本所銅所、山田電線製造所の開設。伸銅品と電線のメーカーとして創業

1884



電気銅線製造を開始

1889



対馬海峡に世界初の無装荷搬送海底ケーブルを敷設

1897



全自動高精度6段圧延機を開発

1915



ブラジルにアルミ電力ケーブル製造販売会社を設立

1937

日本初の電気分銅の試験操業を開始



日本初の海底電線を製造



東京タワーにアンテナ・給電線を設置



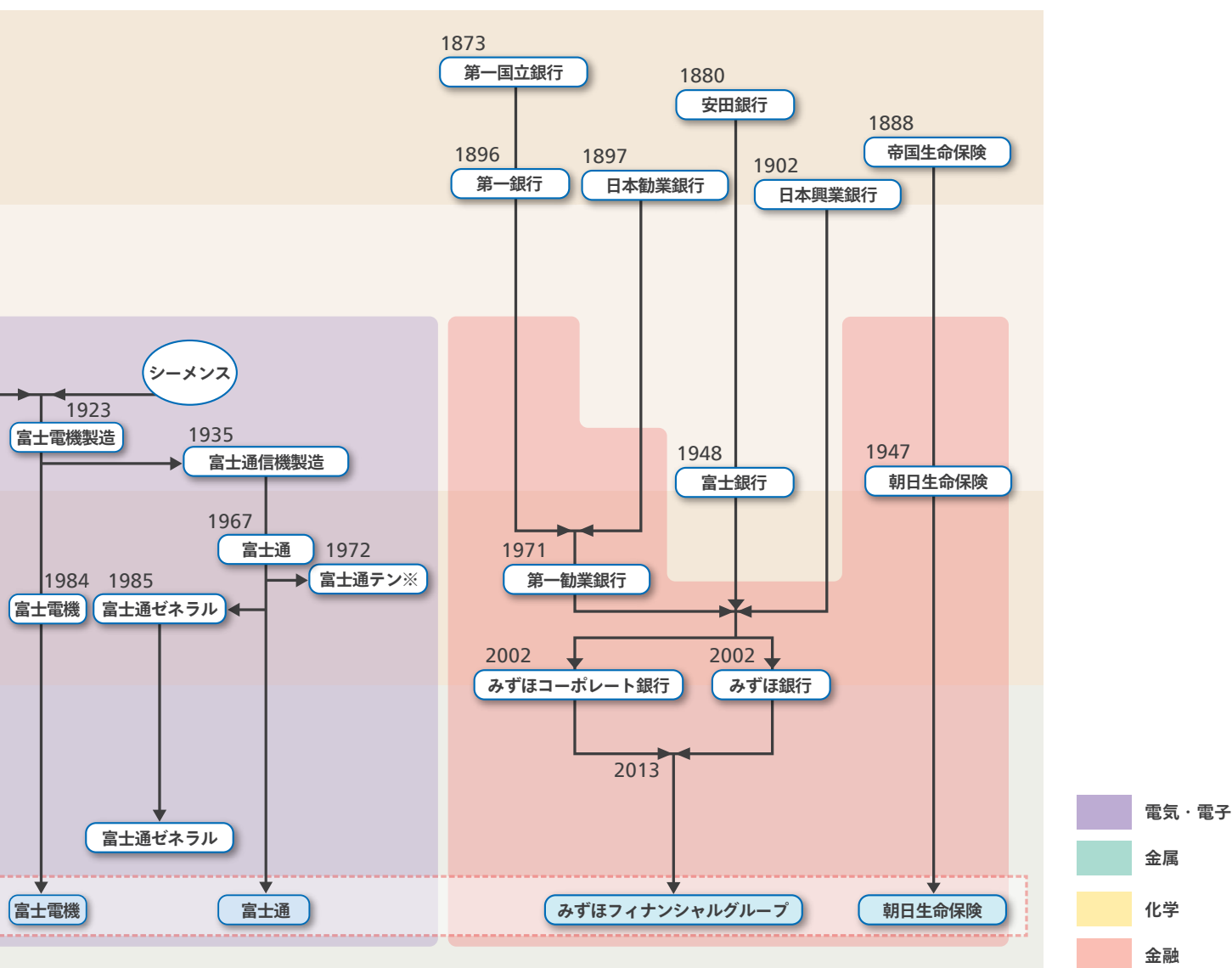
タイ・バンコク市内の通信網を整備



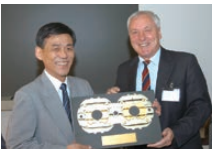
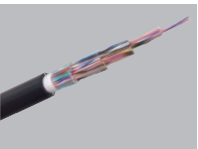
世界初光ファイバケーブルのフィールド試験に成功



緊密な協調をはかり、それぞれの企業活動の強化促進に努めています。



※ 2017 年に社名変更（現 株式会社デンソーテン）

							
ルーセントテクノロジー社の光ファイバ部門 (OFS) 買収により、グローバルネットワーク構築に貢献	米国高温超電導線材製造会社 SuperPower 社を買収	「浮体式洋上風力プラント用超高压ダイナミック海底ケーブル」開発業務を受注	Blue-IR ハイブリッドレーザ「BRACE®」販売開始	「いちご一会」とちぎ国体・とちぎ大会」の炬火台用燃料として、バイオガスを原料とするグリーンLPガスを提供			
2000	2001	2003	2011	2018	2019	2020	2022
波長多重技術による大容量通信の整備に貢献 (1480nm 帯域励起光源レーザ量産)	欧州合同原子核研究機構より超電導線材で特別賞受賞	世界最高水準のコア密度、細径超多心光ファイバケーブルを開発	シリコンバレーに研究拠点を開設	高温超電導線材を英国トカマクエナジー社の先進的小型核融合炉開発機 (ST-80) に納入開始			
				 ©トカマクエナジー社			

「技術革新の歩み」はこちら⇒

<https://www.furukawaelectric.com/company/history/innovation/>



古河電工グループ概要

古河電工 グループ



連結従業員数

49,112 名

(2026 年 3 月末)



グループ会社数

124 社^{※1}

(2026 年 3 月末)



連結売上高

13,076 億円

(2026 年 3 月期)

※1：古河電気工業(株)単体、連結子会社115社
および持分法適用関連会社8社の合計

北米・中米

連結従業員数

4,547 名

グループ会社数

13 社

連結売上高

1,786 億円



南米・欧州^他

連結従業員数

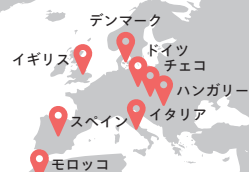
2,500 名

グループ会社数

20 社

連結売上高

675 億円



中国

(香港を含む)

連結従業員数

2,786 名

グループ会社数

20 社

連結売上高

1,257 億円



アジア

(日本・中国を除く)

連結従業員数

28,599 名

グループ会社数

31 社

連結売上高

2,902 億円

日本

連結従業員数

10,680 名

グループ会社数

40 社

連結売上高

6,456 億円

※日本のグループ会社数には、単体が含まれます。
※地域別売上高は、顧客の所在地を基礎とし、
国または地域に分類しています。

「グループ概要」はこちら⇒

<https://www.furukawaelectric.com/company/group/japan.html>





本 社

東京都千代田区大手町2丁目6番4号 (常盤橋タワー)

事業所

7 拠点 (千葉事業所 / 日光事業所 / 平塚事業所 / 三重事業所 / 横浜事業所 / 銅箔事業部門 (日光市) / 羽田事業場)

支社・支店

8 拠点 (北海道支社 / 東北支社 / 中部支社 / 関西支社 / 四国支店 / 中国支社 / 九州支社 / 沖縄支店)

研究所

5 拠点 (横浜事業所 (基盤技術研究所) / 千葉事業所 / 日光事業所 / 平塚事業所 / 三重事業所 (先端技術研究所))

「国内拠点」はこちら⇒

<https://www.furukawaelectric.com/company/office/>

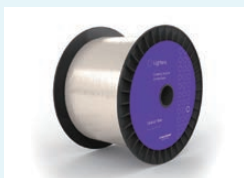


5つの領域と新事業・開発品の紹介

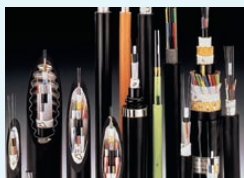
当社は「メタル」「ポリマー」「フォトリソ」「高周波」の4つのコア技術を強みに、光ソリューション、情報コンポーネント、社会課題解決に貢献しています。また、これまで培ってきた技術を融合し、新たな事業創出に向けて挑戦し続けて

光ソリューション

安全・安心の次世代インフラを支える光通信技術で、
高密度・高性能な通信インフラの整備に貢献



光ファイバ



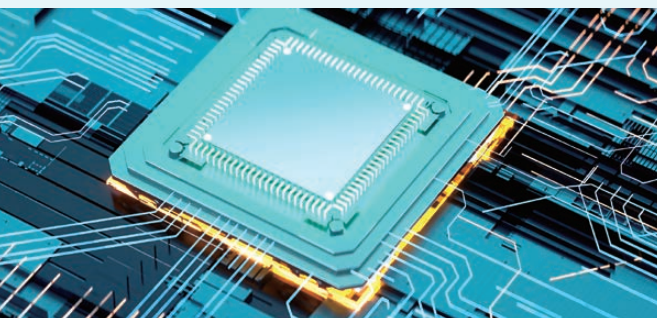
光ケーブル・接続材・
コネクタ・識別機



光ファイバ融着接続機・
接続用工具



システム商品

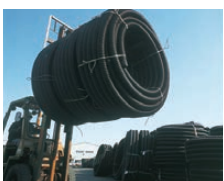


情報コンポーネント

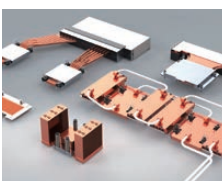
AI・データセンタ関連市場を「高機能」「差別化」技術
で支える



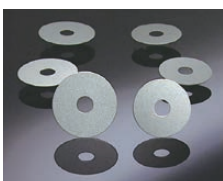
半導体製造用テープ



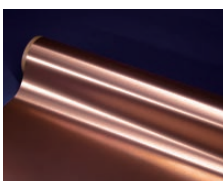
ケーブル管路材



放熱・冷却製品



ハードディスクドライブ
用アルミブランク材



銅箔



光デバイス・光部品

エネルギーインフラ

高度な技術開発力・施工能力と確かな品質で、
社会インフラの安定供給を担う



電力ケーブル



メタル通信ケーブル



ケーブル関連機材
接続・端末製品



アルミ導体ケーブル
システム

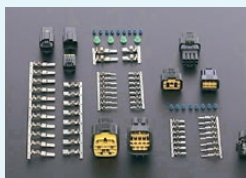
エネルギーインフラ、自動車電装システム、メタルソリューションの各事業領域において多岐にわたる製品を展開しています。

自動車電装システム

人とクルマと世界をつなぎ、より安全で快適なモビリティの実現に寄与



ワイヤハーネス



コネクタ



自動車用機能製品



メタルソリューション

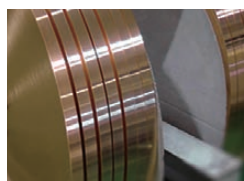
高性能な素材開発力を活かし、エレクトロニクスの進化に貢献



銅合金線・無酸素銅線



被覆線



伸銅品



超電導製品

新事業・開発品

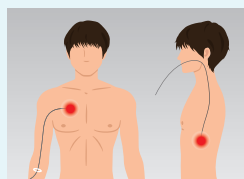
培ってきた技術の活用と提案力で、社会課題解決型の新事業を創出



産業用レーザー



インフラメンテナンス



医療・ライフサイエンス



衛星向けコンポーネント

「製品情報」はこちら⇒

<https://www.furukawaelectric.com/product/>



「『つづく』をつくり、世界を明るくする。」 を体現する企業グループへ



古河電工グループは、創業者 古河市兵衛の「日本を明るくしたい」という思いを受け継ぎ、磨き続けてきた「メタル」「ポリマー」「フォトリソ」「高周波」の4つの技術力とそれらに基づく提案力を強みとして、情報通信やエネルギーなどのインフラ分野、自動車部品分野、エレクトロニクス分野などにおいて、安心・快適な暮らしや社会の進歩・発展が『つづく』ことを目指して、様々な社会課題の解決に取り組んで参りました。

そして、現在、「『つづく』をつくり、世界を明るくする。」というパーパスを軸とした経営を推進し、「古河電工グループ ビジョン2030」の実現に向けて、既存事業の強化・変革と新たな技術・製品・サービスの創出を進めております。

よりよい未来への『つづく』をつくること、そして世界を明るくすることに繋がるように、この取り組みを継続・強化して、ステークホルダーの皆様からの当社グループに対する持続的成長への期待に応えてまいります。

2026年4月

代表取締役社長、CEO

森平英也

会社概要

商 号	古河電気工業株式会社		
代表取締役社長 CEO	森平 英也		
創 業	1884 年		
設 立	1896 年 6 月 25 日		
資 本 金	69,395 百万円	(2026 年 3 月末)	
売 上 高	1,307,560 百万円 (連結) 386,945 百万円 (単体)	(2026 年 3 月期)	
従業員数	49,112 名 (連結) 4,009 名 (単体)	(2026 年 3 月末)	
本 社	〒 100-8322 東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 4 号 (常盤橋タワー)		

「財務・業績情報」はこちら⇒

<https://www.furukawaelectric.com/ir/achievements/>



創業者の思い

古河グループの創業者である古河市兵衛は、
「日本を明るくしたい」という思いのもと、

従業員を大切にせよ

お客様を大切にせよ

新技術を大切にせよ

そして、

社会に役立つことをせよ

と語っていました。

当社は、この言葉をDNAとして大切に紡ぎ、
1884年の創業以来邁進してきました。

「3つの大切」をしっかりと受け継ぎ、
持続可能な社会の実現に貢献していきます。



創業者 古河市兵衛



<https://www.furukawaelectric.com/>

本社 〒100-8322 東京都千代田区大手町2丁目6番4号（常盤橋タワー） TEL. (03) 6281-8500

- ・このカタログの記載内容は2026年5月31日現在のものです。
- ・このカタログの内容は断りなく変更することがありますのでご了承ください。
- ・このカタログに記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

輸出管理規制について

本書に記載されている製品・技術情報は、我が国の「外国為替及び外国貿易法並びにその関連法令」の適用を受ける場合があります。また、米国輸出管理規則（EAR：Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本書に記載されている製品・技術情報を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において、必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

